

物品供給についての入札公告

国立大学法人大阪大学において、次のとおり一般競争入札に付します。

1. 調達内容

(1) 件名及び数量 プラストチラー フクシマガリレイ（株）製 1式
詳細は別紙仕様書のとおり

(2) 納入期限 令和7年3月31日

(3) 納入場所 国立大学法人大阪大学医学部附属病院

(4) 入札方法

落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の10パーセントに相当する額を加算した金額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てるものとする。）をもって落札価格とするので、入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約金額の110分の100に相当する金額を入札書に記載すること。

2. 競争参加資格

(1) 国立大学法人大阪大学契約規則第7条及び第8条の規定に該当しない者であること。

(2) 国の競争参加資格（全省庁統一資格）又は国立大学法人大阪大学の競争参加資格のいずれかにおいて、令和6年度に近畿地域の「物品の販売」のA、B、C又はD等級に格付けされている者であること。

3. 競争執行の場所等

(1) 契約条項を示す場所、国立大学法人大阪大学競争入札加入者心得の交付場所及び問合せ先
〒565-0871 吹田市山田丘2番15号 国立大学法人大阪大学医学部附属病院 管理課 専門職員
電話06-6879-5118

(2) 国立大学法人大阪大学競争入札加入者心得の交付方法

本公告の日から上記3（1）の交付場所にて交付する。

(3) 競争参加資格を証明する書類（上記2）及び入札書の受領期限並びに提出場所

令和7年1月7日 17時00分

（郵送により提出する場合には受領期限までに必着のこと）

国立大学法人大阪大学医学部附属病院 管理課 専門職員

(4) 開札の日時及び場所

令和7年1月8日 10時00分

国立大学法人大阪大学医学部・同附属病院 共通棟3階 入札室

4. その他

(1) 入札保証金及び契約保証金 免除

ただし、落札者が契約の締結をしないときは、違約金として落札金額の100分の5に相当する金額を本学に支払わなければならない。

(2) 入札の無効

本公告に示した競争参加資格のない者の提出した入札書、入札者に求められる義務を履行しなかった者の提出した入札書、その他国立大学法人大阪大学契約規則第22条第1項各号に掲げる入札書は無効とする。

(3) 契約書作成の要否 要

競争入札を執行し、契約の相手方が決定したときは、遅滞なく契約の取り交わしをするものとする。

(4) 落札者の決定方法

本公告に示した物品を納入できると契約権限者が判断した入札者であって、国立大学法人大阪大学契約規則第14条の規定に基づいて作成された予定価格の制限の範囲内で最低価格をもって有効な入札を行った入札者を落札者とする。

(5) 入札書を直接提出する場合は封筒に入れ封印し、かつ、その封皮には氏名（法人の場合はその名称又は商号）及び「1月8日開札 [プラストチラー フクシマガリレイ（株）製 1式] の入札書在中」と朱書しなければならない。また、郵便（配達記録が残るものに限る。）により提出する場合は、二重封書とし、表封書に「1月8日開札 [プラストチラー フクシマガリレイ（株）製 1式] の入札書在中」と朱書し、中封書の封皮に直接提出する場合と同様に氏名等を記載し、入札書の受領期限までに送付しなければならない。

(6) 上記3（4）の開札に立ち会わない競争加入者等については、再度入札を辞退したものとみなす。

(7) その他詳細は、「国立大学法人大阪大学競争入札加入者心得」による。

令和6年12月23日

国立大学法人大阪大学医学部附属病院 病院長 野々村 祝夫（公印省略）

仕 様 書

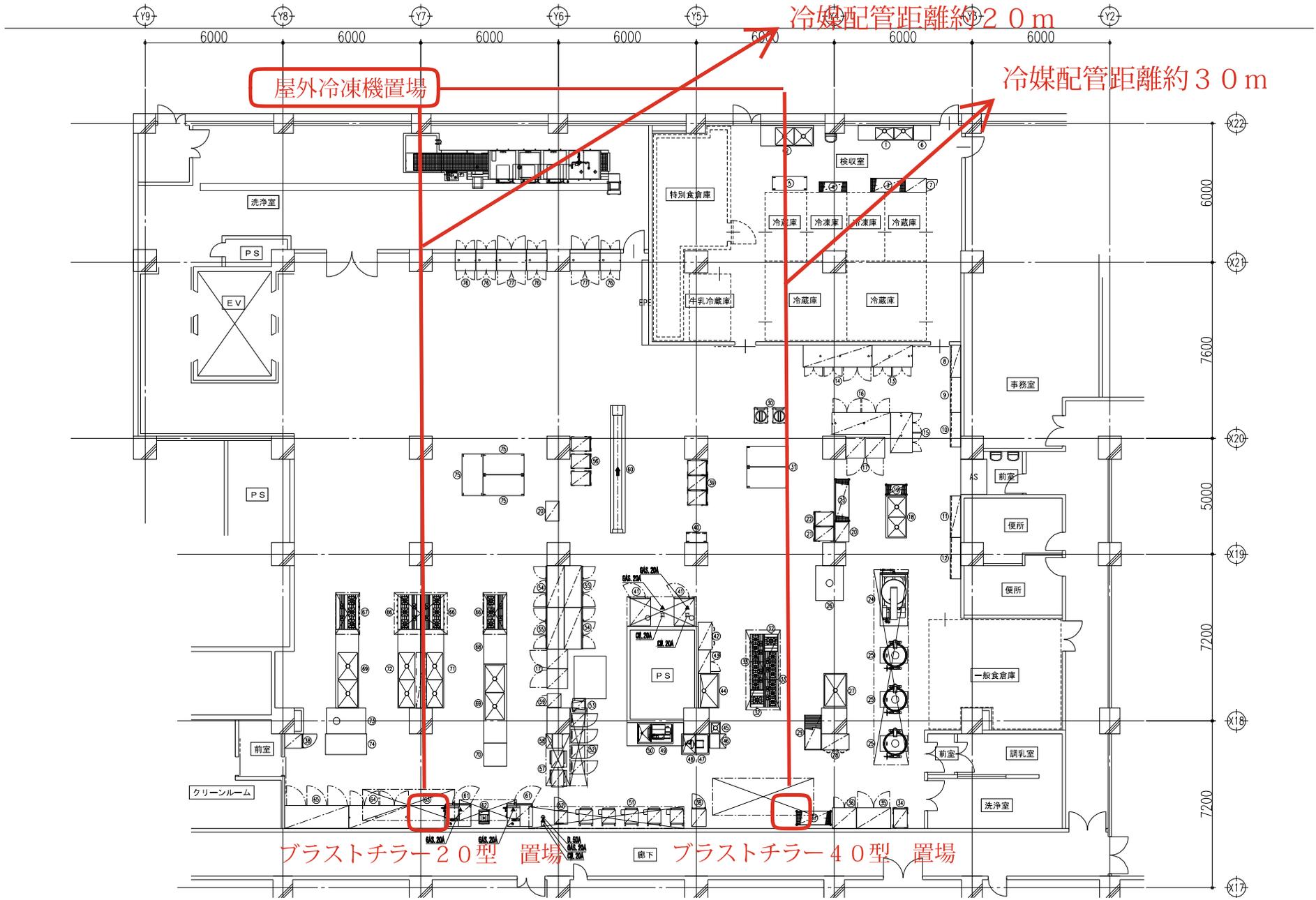
供給すべき物品の表示：ブラストチラー フクシマガリレイ（株）製 1式
（内訳）

QXF-020SFKL3-R（改）	1台
QXF-040SFKS3-R（改）	1台

供給者は、本仕様書に基づき上記物品を供給するものとする。

記

1. 供給物品は、国立大学法人大阪大学医学部附属病院病棟L階厨房に納入し、別紙図面のとおりに設置すること。
2. 供給者は、搬入、据付、既存機器（福島工業製 QXF-040SFR5 1台及び QXF-020SFR5 1台）の撤去処分、排水・冷媒配管、電気工事の一切を行うものとし、それらの費用は見積額に含むこと。
3. 設置にかかる作業は、給食業務時間外の夜間に行うこと。
4. 排水配管は既設配管を利用すること。また、供給物品設置後に通水テストを行って詰まりや不具合が無いことを確認すること。
5. 屋外冷凍機の固定には防振ゴムを使用し、振動が伝播しないように処置すること。
6. 冷媒配管及び電気工事は以下のとおりとすること。
 - ① 低圧ガス管・高圧液管には十分な保温効果のある断熱工事を行い、保護テープで処理を行うと共に外観を整えること。
 - ② 配管支持箇所は保温材の保護サポートを使用すること。
 - ③ ブラストチラーと屋外冷凍機をつなぐ既設配管は撤去し、170φで冷媒配管・電線を新設すること。なお、事前調査を行い配管ルート調整や天井内作業が可能かを確認した上で施工すること。また、使用する冷媒配管は以下のとおりとする。
 - ・サクシヨン配管 保温断熱 110φ（銅管 25mm）
 - ・リキッド配管 保温断熱 50φ（銅管 10mm）
 - ・通信線・ブラストチラー本体電源電線 20φ
 - ④ 躯体壁貫通部は既存の貫通孔を転用し、貫通部の処理については、隙間のないようにコーキング等で充填すること。
7. 工事日程その他詳細は、本学担当職員と協議の上決定すること。



屋外冷凍機置場

冷媒配管距離約2.0m

冷媒配管距離約3.0m

ブラストチャラー20型 置場

廊下 ブラストチャラー40型 置場